

可能文に関する一考察

一用例分析を通して一

村田恵美 (ザグレブ大学)
emuratam615@gmail.com

【要約】

本研究は可能文の能力可能以外の用法について調査を行い考察の結果をまとめたものである。分析は、初中級以上の日本語学習者への調査、日本語教科書の分析、コーパスを使用した可能形の前接続の抽出をもとに考察を行った。

可能形は能力可能以外の機能も散見されるにもかかわらず、日本語学習者にはあまり周知されていない。日本語学習時、可能表現は可能動詞などの能力可能文に時間を使われがちだが、能力可能以外の用法も可能文はあまり練習されていない。能力可能以外の可能文の前接続に現れやすい語彙を、教科書などの横断的利用の必要性、状況可能文の前接続の特徴などを示唆している。

1. 背景

日本語を継承語として話す年少者（5歳位）が「このパンを切ってもいいよ」と発話した。年少者は、パンを食べたいと思っていたが、パンは店で販売されている長さ約30センチの大きさのまま、まだ切り分けられていなかった。そのため、日本人（成人）に自分のためにパンを1センチぐらいに切り分けてほしいと依頼するために「このパンを切ってもいいよ」と発話したのだった。

この発話を聞いたとき違和感を抱いたが、おそらくクロアチア語の「Moci」という言葉が影響しているのではと考えた。「Moci」は、クロアチア語で可能表現でもあるが、依頼時にも使用される語彙だからだ。

例えば、日本語の可能表現のように、

1) 「日本語を話すことができる」(可能) (Ja) mogu govoriti japanski

と使われる。また、許可・依頼・同意としても使われる。

2) 「日本語を話してもいい？」(許可) Mogu li govoriti japanski?

3) 「パンを切ってもらえる？」(依頼) Možete li odrezati kruh?

その答えとして、「いいよ」(同意) という言葉にもこの Mogu または Moze が使われる。

クロアチア語には、許可を表す Smjeti もあるが、Moze のような同意としての使用はあまりみられない。

こうした点から、年少者の「このパン切ってもいいよ」発話背景には以下の2点

1) クロアチア語「Moze」依頼表現の影響

2) 子供の成長過程でみられる可能形使用時の現象化の1つ。

の影響を考えた。

しかし、「可能形」の先行研究にあたるうち、年少者の発音が単なるクロアチア語が影響したわけで

はないことがわかった。

本稿の構成は以下のとおりである。まず、本研究のきっかけとなった可能・許可・依頼表現をクロアチア語と比較し分析を行う。次に、初級教科書分析、コーパスを用いて可能文の前接続を行い考察する。

2. 先行研究

『日本語教育事典』(1993)によると、「可能表現」には「一口に可能といっても、具体的な文の中では、能力・性能・ある条件事情の下での動作の実現、許可などさまざまな意味で解釈される。」とある。また寺村(1982)では「日本語の可能性を表している中心的な意味は、「ことができる」や「可能動詞」などを使用し能力を表す表現だけでなく、状況を表すことができる表現である」と指摘し、さらに「そのような状態は、一時的なものであることもあるが、恒常的と言ってよい場合がある」と説明している。さらに蒲谷(2013)や加藤(2016)では、可能形が待遇表現、許可求めのとして使用されることも指摘している。セーリム(2013)は、「自動詞の可能形」について教科書分析を通し、日本語の自動詞には可能の意味が含まれていること、および無意志動詞の自動詞を可能形にできないことを、明示的に教える必要があると述べている。

3. 結果と考察

まず本研究のきっかけとなったクロアチア語における **Moze** について予備調査を行った。

3. 1 クロアチア語の可能・許可・依頼表現

ザグレブ大学日本学コース中級クラスの受講者、日本企業に就職経験のあるクロアチア語母語話者、当コースクロアチア語母語話者日本語講師にアンケートを行い、クロアチア語「**Moci**」の運用分析を行った。調査方法は『どんなときどう使う日本語表現文型』から「6可能・難易」「7依頼・命令」「9許可・禁止・義務・不必要」を抜き出し、クロアチア語に翻訳した。結果は以下のとおりである。

3. 1. 1 クロアチア語 **moći** の影響

	1	2	3	4
可能 V ことができます。/N ができます。 例文：ロボットは危険な所でも仕事ができます。	3 / 3 (100%)	1 / 3 (33%)	3 / 3 (100%)	2 / 3 (66%)
可能 可能動詞 例文：日本語の新聞が読めますか。	2 / 3 (66%)	2 / 3 (66%)	2 / 3 (66%)	2 / 3 (66%)
可能 無生物主語の可能文 例文：このパンは美味しいからよく売れます。	2 / 3 (66%)	1 / 3 (33%)	1 / 3 (33%)	0 / 3 (0%)
可能 可能の意味がある自動詞 例文：眼鏡をかければ、小さい字も良く見えます	1 / 3 (33%)	0 / 3 (0%)	1 / 3 (33%)	0 / 3 (0%)
許可 今日の会議室は 303 号室を使ってもいいですよ。	2 / 2 (100%)	1 / 2 (50%)	2 / 2 (100%)	2 / 2 (100%)
禁止	0 / 3	0 / 3	0 / 3	0 / 3

病院の中で携帯電話を使ってはいけません。	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)
依頼	1 / 3	1 / 3	0 / 3	1 / 3
あとう、もう少しゆっくり言ってください。	(33%)	(33%)	(0%)	(33%)

被験者数が少ないため傾向を述べるには注意が必要だが、クロアチア語における *moći* の用法として以下のことが考えられる。可能文では、「～できる」「可能動詞」の場合 *moći* は使用されやすく、同じ可能文でも「無生物主語」「可能の意味がある自動詞」では使用されにくい。同じく、許可文では、*moći* は使用されやすい傾向がみられ、禁止文、依頼文では、*moći* は使用されにくい。依頼文では、丁寧な依頼を意味する *Molim vas* が使用する傾向があった。これを被験者に確認したところ、「初めて会う人や距離がある人には、*Molim vas* を使い依頼をするが、友人や家族など親しい関係では、*Moze* を使うと説明があった。本発表後も *Moze* の持つ有標・無標について助言をいただいた。この *Moze* は今後の課題としたい。

3. 2 コーパス分析「できる」

状況可能文の特徴を探るために、状況可能文で使用されやすい語彙の調査を行った。調査方法としては、NINJAL-LWP を使用し「できる」の抽出を行い、状況可能文の前接続に着目した。

結果は以下のとおりである。「～できる」は計 3,428,316 件が検出された。(2019年3月)。上位3件は次のとおり。

- 1) ～ができる 1,501,953 件
- 2) 動詞+できる 1,484,493 件
- 3) できます 888,435 件

抽出結果から、「～ができる」が最も多く、動詞+ができるよりも多いことがわかる。そこで一番件数の多かった「～ができる」にさらに着目し、「～ができる」の前接続の抽出を行った。結果は以下の通りである。

- 1) ことができる 896,057 件
- 2) それができる 11,361 件
- 3) 仕事ができる 10,326 件

「ことができる」が「～できる」文の中で一番が多いことがわかる。そこで「～ことができる」の前接続に着目し抽出を行った。「ことができる」の前は、動詞が上位を占め、その中でも「書く」が一番多かった。抽出結果は以下のとおり。

- 「～ことができる」100 件
1. 「書くことができる」12 件
 2. 「表すことができる」10 件
 3. 「見ることができる」4 件
 4. 「描くことができます」4 件
 5. 「得ることができる」3 件

「書くことができる」は、「私は難しい漢字も書くことができる」(能力可能)と「税関申請書は飛行機の中でも書くことができる」(状況可能)と、どちらの用途でも使うことができる。そこで宮島(1996)

の可能表現の分類、「実現系の可能」と「潜在系の可能」を援用し、潜在系の可能（実現の可能性がある/あった）文に着目し、潜在系の可能文「～ことができる」に前接続する語彙の抽出を行った。

結果、次の5つの特徴がみられた。

1. 「入る」「出る」「おきる」「変わる」の動詞は潜在系の可能文「～ことができる」の前接続に現れやすい。

2. 主語が無生物主語の時、潜在系の可能文「～ことができる」の前接続に現れやすい。

例) 「バスは通ることができる」「歯は、若返ることができる」。

3. 「形容詞+める」

例) 「水で薄めることができる」

4. 「～ておく」

例) 「水をためておくことができる」である。

抽出の結果、状況可能文「～ことができる」に現れやすい前接続があることが示唆された。

3. 3 初級教科書の分析

つぎに、クロアチアで使用されている教科書の可能形について『日本語教育辞典』を援用し、7分類のもと抽出をおこなった。分類は(表1)に示す。導入される順として『げんき I・II』『みんなの日本語』は、「～できる」が初めに導入され「可能動詞」が導入されるが、『まるごと』では、入門の3課と比較的に早い時期に導入していることがわかる。

次に、教科書別に可能動詞を(表2)にまとめた。1. 「～できる/可能動詞」は能力可能文では人称を使用し導入されていた。2. 状況可能文では場所や環境されていた。ただし『げんき』は可能動詞のみ導入されていた。3. 許可文は会話文で導入だった。

1) 《能力可能》

ミラーさんは漢字を読むことができます。(『みんなの日本語』18課)

メアリーさんは、1キロ泳げます。(『げんき』13課)

わたしは、にほんごができます。(『まるごと』入門 A1: どうぞよろしく)

ギターができます。(『まるごと』入門 A1: 趣味)

2) 《状況可能》

大阪城は、何時まで見学ができますか?…5時までです。(『みんなの日本語』18課)

このツアーでは、沖縄ガラスでコップが作れます。(『まるごと』初級 2 A2)

3) 《許可文》

A:あとう、ここで、たばこを吸うことができますか。

B:すみません、外でお願いします。(『みんなの日本語』18課)

4. 無生物主語、5. 自動詞の可能文は『みんなの日本語』のみで導入されていた。

4) 《無生物主語》

この車に何人乗れますか。

(この車は) 8人乗れます。(『みんなの日本語』27課)

5) 《自動詞の可能文》

2階から花火が見えます。(『みんなの日本語』27課)

5. 可能動詞を使って原因/理由は『まるごと』のみで導入されている。

6) お正月は久しぶりに国に帰って、よかったです。(『まるごと』初級2)

7) 仕事で外国からのEメールや電話が良くあります。丁寧な外国語で書いたり、話したりすることができます。(『まるごと』初中級 A2/B1)

当国で使用されている主な教科書、手に取り調査できる教科書は、能力可能はすべての教科書で導入されているが、導入されていない文型もあることがわかった。つぎに、能力可能以外を整理して導入しているのは『みんなの日本語』だった。許可文、無生物主語など整理して導入している。『まるごと』では、『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』3課「自己紹介」というかなり早い時期に可能形が提示されている。初中級になると、会話で可能形が使用され「～たり、～たり+可能形」文が練習問題で提示されている。各教科書で可能形の特徴があることがわかる。

4. まとめと今後の課題

可能表現の用法は多岐にわたるが、可能動詞の文型練習に時間を使いがちである。学習者の日本語でのコミュニケーション能力を伸ばすためには、教師は能力可能以外の用法も認識し、学習者の目的やレベルに応じて適宜提示する必要がある。そのためには教科書や参考書等の横断的利用が重要性であることが再確認された。また、コーパスによる可能形への前接続の調査では、状況可能文を表す可能文に接続されやすい前接続の語彙の特徴が示唆された。

謝辞

本調査では、ザグレブ大学哲学部インド極東学科日本学コースの日本語初級クラスを修了した履修生及び卒業生、また日本企業で就職した経験のあるクロアチア語母語話者にご協力いただいた。また発表終了後には、ブルガリア語、チェコ語、スロベニア語等、クロアチア語に近い言語を母語とする方、またこれらの言語をよくご存じの日本人母語話者の先生方から、大変貴重なご意見をたくさんいただいた。ここにあらためて、皆様にお礼申し上げたい。

参考文献

寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味』 くろしお出版

友松悦子他 『どんなときどう使う日本語表現文型』 アルク

日本語教育学会小川芳男他編 (1998) 『日本語教育辞典』 大修館書店

蓮沼明子 (2017) 「譲歩のレトリックの言語的指標とその機能-コーパスの用例観察を通して-」 『日本語教育連絡会議論文集 Vol.30』, 8-26

パンニー・セリーム (2013) 「自動詞の可能形」の誤用の要因に関する考察-初級日本語教科書の分析から- 『日本語・日本文化研究』 (第 23 号) 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

真嶋潤子・濱田朱美 (1999) 「日本語初級教科書の分析試案--「ちょっと」の意味・用法から」 『日本語・日本文化研究 (9)』, 27-44, 大阪外国語大学日本語講座

宮島達夫・仁田義雄編 (1996) 『日本語類義表現の文法 (下) 複文連文編』 くろしお出版

調査資料出典

『初級日本語 げんき I・II』(1999) ジャパンタイムス

『みんなの日本語 初級 I・II 本冊 第2版』(2015) スリーエーネットワーク

『みんなの日本語 初級 I・II 文法解説、英語版』(2014) スリーエーネットワーク

『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』(2015) 国際交流基金

『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A 2 りかい』(2015) 国際交流基金

『まるごと 日本のことばと文化 初級 2 A 2 りかい』(2019) 国際交流基金

『まるごと 日本のことばと文化 初中級 A 2/B1』(2015) 国際交流基金

『NINJAL-LWP for TWC』 <<http://nlt.tsukuba.lagoinst.info/>>

(表1) 可能形導入課一覧

		1. できる	2. 可能動詞 「読む」⇒ 「読める」	3. 一段活用 の動詞 「くる」	4. 動詞 「する」	5. 自動詞 「見える」 「聞こえる」	6. 「得る」を接尾語的に 用いる	7. できない意味を表す 「かねる」 「わけにはいかない」
1	げんき I・II		13 課	13 課	13 課	13 課 (会話文)		
2	みんなの日本語	18 課	27 課	27 課	27 課	27 課		
3	まるごと(入門)A1	3 課：自己紹介 11 課：趣味						
	まるごと(初級2)A2		6 課：沖縄旅行（環境や施設の条件によって可能なこと） 7 課：日本祭り（能力・技術） 9 課：特別な日（可能形の動詞を使って原因理由を言う）					
	まるごと(初中級)A1/B1	9 課：仕事を探す				8 課 旅行中のトラブル		

(表2) 可能形機能別一覧

	げんき I・II	みんなの日本語	まるごと
できる/可能動詞<能力可能>	△/×ことができる	○	○
できる/可能動詞<状況可能>	△/×ことができる	○	○
許可文	△会話文	○	
無生物主語		○	
自動詞		○	
可能動詞を使って、 原因/理由を表す			○